訪問

株式会社エーアイエス

簡単操作で緻密なレセプト点検 業務効率化で院長の負担を大幅減

「多くのお客様にご愛用いただいている現状に満足せず、より使いやすく、より精度の高いシステムへと、常に進化させていきたいと思っています」と語る志賀哲代表取締役社長

20年以上の経験を基に 現場に即したソフトを開発

医療情報システムのパッケージ商品販売を行う株式会社エーアイエスの設立は1986年。当初は大手ベンダーの下請けでソフト開発を行っていたが、1999年から本格的に自社パッケージの開発・販売を開始。なかでもレセプト点検ソフト『Mighty Checker』は、多くの医療機関に愛用されているソフトだ。09年4月現在、全国約9,000の医療機関が導入しており、うち約7,700が診療所。

レセプト点検ソフトは、さまざまなタイプが各社から開発・販売されているが、設立から20年以上にわたり現場の声を集めてきた同社には、他製品の追随を許さない開発ノウハウが蓄積されている。長年培った技術と顧客からの要望を反映したデータベースを自社で開発。それと最新のプログラミングが密接に結びつき、より高度な点検が行えるシステムとなっている。

同ソフトの導入に際して必要なのは、レセプトコンピューターとそのデータを移送してチェックするためのパソコンの2台。レセコンからUSBメモリなどを使いレセプト電算ファイルを取り出し、同ソフトが入ったパソコンでチェックするというのが基本的な使い方。そうすると、警告帳票という形でどこに算定ミスがあるか指摘されるので、それを基にレセコンのデータを修正する。

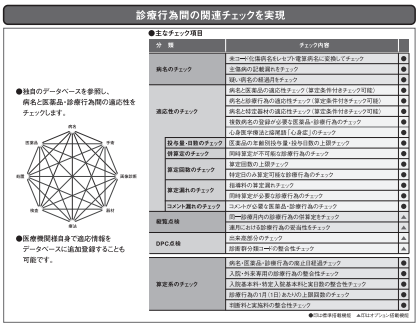
『Mighty Checker』の開発の中心的な役割を担う上野直・執行役員兼医療システム開発第二部部長

実際の操作はレセプトを読み込んで、点検ボタンを押して、リストを出力するだけなので、パソコンに不慣れな人でも簡単に操作することができる。

レセプト点検の効率化で 診療に集中することができる

開業する際に直面する悩みとして、豊富な経験をもつ事務員を雇用できないことが挙げられる。院長自身もレセプト申請に慣れていない場合が多く、開業当初に現場が混乱した、というような話もよくある。そんな悩みを解決してくれるのが『Mighty Checker』。実際に豊富な医療事務の経験者を雇わずとも、開業当初からスムーズにレセプト業務を行うことができるという利用者からの声が多いそうだ。

開発を担当する執行役員兼医療システム開発第二部の上野直部長は「導入するメリットは業務の効率化が図れることです。レセプト点検を目で行うと月で10時間ほどかかるので、事務員への負担が非常に大きい。院長先生のチェックも3～4時間かかるという話を聞きます。同ソフトを使うことで、所要時間を何分の一かに減らすことができるのです。事務員の負担は軽減されますし、院長先生はより診療に集中できるようになります」と胸を張る。



簡単な操作で算定もれや誤入力などをしっかりチェックできる『マイティーチェッカー』

気になる利用料金は、どのような規模の医療機関でも使えるように、病床別に設定。診療所でも手頃な価格で利用することができる。

同ソフトのデータ更新は毎月行われ、同社のホームページからデータをダウンロードすることができる。2年に1回行われる診療報酬改定はもちろん、毎月のように変わる新薬情報も更新される。また、同ソフトには診療科目によって点検システムを微調整するチューンナップ機能が備わっていて、自院用にカスタマイズしたうえで使用できる。

この2つのサービスが利用料金に含まれているのが嬉しい。

DATA

東京都文京区小石川2-23-11
常光ビル8F
TEL：03-5800-5911
URL：http://www.tais.co.jp/